

九州保健福祉大学公開講座

募集要項

今年度の公開講座タイトルは、「大学からの情報発信2019～薬学部から地域の方々へ～」です。九州保健福祉大学は、設立以来、地域の皆さまと共に歩み、公開講座も今年度で19年目(19回)を迎えました。この間、大学では地域交流、研究、学生教育等に鋭意取り組んでまいりました。今後も、大学内の知的財産、各学部・学科における研究内容等を地域の方々にもっと知って頂き、地域との交流を更に深めていきたいと思っております。今年度は、「薬学部からの情報発信」です。

～ 日 程 ～

<7月27日(土)午前10時～10時20分>

公開講座開講式

<7月27日(土)午前10時20分～12時>

①【のべおか薬草栽培大作戦!!】

講師 渥美 聡孝(薬学部薬学科講師)

<8月24日(土)午前10時～12時>

②【土地の記憶をまもる。一地域社会の記録や記憶をレスキューする活動一】

講師 山内 利秋(薬学部動物生命薬科学科准教授)

<9月28日(土)午前10時～12時>

③【界面をみる-燃料電池反応から創薬開発まで-】

講師 内田 太郎(薬学部動物生命薬科学科講師)

<10月26日(土)午前10時～12時>

④【食品の化学】

講師 松野 康二(薬学部薬学科教授)

<11月16日(土)午前10時～12時>

⑤【アドメ人形で薬剤師と延岡市民を元気にしよう!

～アドメってなんじゃろか?～

講師 高村 徳人(薬学部薬学科教授)

<12月14日(土)午前10時～11時30分>

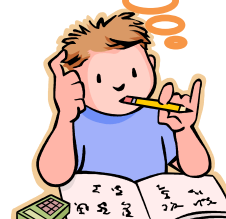
⑥【血栓症ってどんな病気?～血液ドロドロを防ぐためには～】

講師 杉田 千泰(薬学部薬学科助教)

<12月14日(土)午前11時30分～12時>

公開講座修了式

受講して
みませんか?



<7月27日(土) 午前10時20分～12時> 【のべおか薬草栽培大作戦!!】



漢方薬は『生薬』と呼ばれる、主に植物を乾燥させたものを複数組み合わせる用いられます。これまでにエキス剤と呼ばれる漢方薬の粉薬を服用したことがある方も多いのではないかと思います。しかし近年は主たる輸入先であった中国の人的コストの高騰や中国国内での需要増加によって生薬の価格が上昇し、安定供給が不透明になっています。そこで現在、政府および各自自治体が日本での生薬自給率向上を目指し、生薬の原料である薬用作物の産地化を試みております。九州保健福祉大学も延岡市に知識還元を行う一環で薬用作物の栽培試験を行っており、講義では「どこまで進んでいるのか?」「どうやってはじめるのか?」についてお話したいと思っています。

講師 渥美 聡孝(あつみ としゆき) 薬学部薬学科講師
静岡県浜松市出身。金沢大学薬学部製薬化学科を卒業後、同大学大学院医薬保健学総合研究科に進学して博士(創薬科学)号を取得。専門は薬用資源学、生薬学。研究内容は薬用作物の栽培研究。延岡の地で作物として薬用植物が栽培するための研究(栽培方法・成分定量・商品化した際の成分安定化)を行っている。

<8月24日(土) 午前10時～12時>

【土地の記憶をまもる。一地域社会の記録や記憶をレスキューする活動一】



日本中どこへ行っても人口減少による空き家が増加している現状があります。また、空き家ではなくとも、古くなって維持が難しくなった建物が各地に多く存在しています。残念ながら、そうした建物の全てをのこしていく事は難しいでしょう。しかし、建物は古くからその土地の人々の歩みを見守り、そこには人々の記憶や記録がのこされています。かつては「歴史的な」と言えば明治時代より前のイメージが強くありましたが、今では第2次大戦一戦後復興期、高度成長期も地域社会の歴史を考えていく上で極めて重要になっています。さらには「昭和」という時代に関わる様々なモノは、我々が自分の足跡を再確認して、地域社会で暮らしていく上で欠かせません。様々な文書での記録類や写真など、こうしたモノをのこし、後世に伝えていく事の意味について考えてみます。

講師 山内 利秋(やまうち としあき) 薬学部動物生命薬科学科准教授
埼玉県さいたま市(旧浦和市)生まれ。國學院大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程前期修了。専門は博物館学・文化財の保存と活用・まちづくり。薬学部動物生命薬科学科准教授。学芸員養成課程を担当しています。

<9月28日(土) 午前10時～12時> 【界面をみる 一燃料電池反応から創薬開発まで】



私たちの生活は数多くの化学物質や化学現象に支えられています。これらの性質や効率の鍵を握るのが、物質と物質が接する“界面”での分子や原子の挙動です。つまり、界面における分子・原子の挙動を明らかにすることは、さらに高活性な物質や高効率な反応を示す物質の開発に指針を与えることとなります。そこで、私たちは界面を選択的に分子レベルで選択的・高感度に観測できる測定法の開発を行い、それを用いて、さまざまな界面を分子レベルで解明してきました。私はこの4月から九保大に着任いたしましたので、この講演では私の自己紹介をおこないつつ、これまでこの測定法でどのようなものを明らかにしてきたか、そしてこの測定法が薬学でどのように役立つ(かもしれない)かについてお話できればと考えています。

講師 内田 太郎(うちだ たろう) 薬学部動物生命薬科学科講師
福岡県福岡市出身。長崎大学教育学部卒業、長崎大学大学院教育学研究科修士課程修了、北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了(博士(地球環境科学))。北海道大学触媒化学研究センター(現、触媒科学研究所)博士研究員、特任助教(文部科学省統合物質創成化学推進事業統合研究フェロー兼任)、北里大学薬学部特任助教、信州大学環境・エネルギー材料科学研究所助教(特定雇用)、信州大学理学部博士研究員を経て、平成31年4月より現職。

<10月26日（土）午前10時～12時> 【食品の化学】



私たちは、生命維持、健康の保持・増進のために、いろいろな栄養素や成分を「食品」からバランスよく摂取しなければなりません。そのためには、「食品」に関する様々な知識を知ることが大切です。そこで本講座では、食品に含まれる様々な成分（栄養素、機能性成分等）、食品の保存法や変質（腐敗や変敗等）、食品中に含有・生成する有害物質（残留農薬、発がん物質等）、保健機能食品（特定保健用食品、保健機能食品等）、遺伝子組み換え食品、食品添加物等について解説します。

講師：松野 康二（まつの こうじ）薬学部薬学科 教授

福岡県出身、長崎大学薬学部卒、同大学院修士課程修了、医学博士、産業医科大学医学部助手、講師、准教授を経て、2007年4月より現職。身の回りに存在する種々の化学物質の分析や生体影響に関する研究を行っている。

<11月16日（土）午前10時～12時>

【アドメ人形で薬剤師と延岡市民を元気にしよう！～アドメってなんじゃろか？～】



本来、薬剤師の仕事のど真ん中は、目の前の患者さんの薬のADME（A:吸収・D:分布・M:代謝・E:排泄）を見抜いて適切な薬物治療を行うことです。しかしながら、皆様もお気づきのとおり、薬はいったん体内に入ると見えないのです。だから、薬剤師は薬のADMEを患者さん（＝国民）に意識させることが非常に難しいのです。それを解決するために、私はADME患者人形を考案致しました。そこで、講義では薬剤師を発展させるためのアドメ人形の意義について述べたいと思っています。さらに、本人形を用いた実演を通し、薬のADMEをベースに持つ薬剤師の職能をご理解頂ければと思います。最後に、ADMEは薬を飲む全ての人々に直結するのだということをご認識していただけたら幸いです。さあ、薬のアドメの重要性を全世界に延岡の地より訴えて「アドメの国・延岡」を確立しようではありませんか。そして、活気ある延岡を復活させましょう！

講師 高村 徳人（たかむら・のりと）薬学部薬学科教授

宮崎県出身。東京薬科大学薬学部薬学科卒業、熊本大学薬学部研究生を経て、博士号（薬学）取得。宮崎医科大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長を経て、現職。研究テーマは、「薬学的分布診断法の開発とその診断に基づく安全かつ有効な攻めの薬物投与方法の確立」。これまでに、宮崎県病院薬剤師会常任理事や延岡市西臼杵郡薬剤師会副会長を経て、現在、延岡市西臼杵郡薬剤師会理事、日本社会医療学会理事。代表著書に「がんばろう薬剤師—医療貢献のための道を探る—」がある。

<12月14日（土）午前10時～11時30分>

【血栓症ってどんな病気？～血液ドロドロを防ぐためには～】



「血栓」という言葉を聞いたことがありますか？血栓とは血管の中にできる血液の固まりのことで、それによって血管が詰まり重篤化すると心筋梗塞や脳梗塞、エコノミークラス症候群（肺塞栓症）といった血栓症を引き起こします。近年、食の欧米化や震災地での被災者の車中泊などにより、血栓症の発症頻度は大きく増加しています。私たちは血栓症が身近な病気であることを認識し、その発症を予防することが大切です。そこで今回の公開講座では、血栓はどのようにしてできるのか、血栓症とはどのような病気なのか、そして血栓症にならないために私たちができることは何かを中心にお話させていただきます。

講師 杉田 千泰（すぎた ちひろ）薬学部薬学科助教

宮崎県西都市出身。九州保健福祉大学 薬学部 薬学科を卒業し、平成19年に薬剤師免許取得。平成24年に宮崎大学 医学部 機能制御学講座 薬理学分野に勤務、平成25年に宮崎大学 医学部 医学系研究科 大学院博士課程 修了（医学博士）。同年より現職に至る。専門は血栓止血学、研究テーマは血栓症に対する健康食品・サプリメント成分の影響である。

＝募 集 要 項＝

2019年度九州保健福祉大学公開講座の全体テーマは、
「大学からの情報発信2019～薬学部から地域の方々へ～」で、全6回シリーズです。
6回まとめた募集ですが、都合のつかない講座は受講されなくても構いません。
受講を希望される方は下記により事前にお申し込みください。

～応募方法～ ※いずれかの方法でお申込ください。

- ①郵 送：〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1 九州保健福祉大学
公開講座委員会事務局宛に、往復はがきで「郵便番号・住所・
氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入し申し込んでください。
(復) はがきにも返信宛先を書いてください。
- ②FAX：0982-23-5530
九州保健福祉大学 公開講座委員会事務局宛
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記FAX番号に送信して下さい。
- ③E-mail：kuhw-syomu@office.jei.ac.jp
※ 必ず件名に「公開講座申込」と記載して下さい。
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記アドレスに送信して下さい。

・ 申込締切 7月18日(木) 必着でお願い致します。

～受講について～

- ・ 定 員 定員は200名です。※高齢者(65歳以上)の方を主に対象としていますが、
それ以外の年齢の方も受講できます。
- ・ 受 講 料 大人2,000円、高校生以下500円
全6回シリーズの受講料で、受講回数に関係なく定額です。
なお、受講料には資料代を含んでいます。
受講料は初回の公開講座実施日(7月27日)に徴収します。
- ・ 受講連絡 申込受付後、「公開講座に関するご案内」を送付します。
- ・ 修了証書 全講座を受講された方に「修了証書」を最終日に授与します。
- ・ 応 募 先 〒882-8508 延岡市吉野町1714-1 九州保健福祉大学庶務課内
公開講座委員会事務局 宛
TEL 0982-23-5555 (代)
- ・ 講座会場 九州保健福祉大学 F講義棟
- ・ 駐 車 場 ※駐車場がありますので、ご利用下さい。

～九州保健福祉大学附属図書館利用について～

本学では附属図書館を市民の方に開放しておりますのでご利用下さい。
開館時間：平日9:00～20:00、土日祝日9:00～18:00
(年末年始・8月中旬一定期間、学内行事により臨時閉館することもあります)